

不安と孤立を見捨てない **石坂わたる** の
たつのこ通信

【中野区議会】〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL:03-3228-8874(無所属控室)

1面 活動報告
2面 議会で質問しました/議会豆知識
3面 委員会質問/特集: 赤ちゃん
ほっとスペース
4面 学習会レポート/ホットスポット
の除染/お知らせ/だらこんクン



と医療の連携により、幼児期に発達障がいを見出し、早期のサポートを始めることで、その後

至中野
中野通り
丸の内線新中野駅
青山街道
杉山公園
京王バス
十貫坂上バス停
十貫坂上交差点
新中野駅から
徒歩6分
大塚橋商店街
調機地域
センター
カサデオリバ

あるそうです。

発達障がいとは、学校での集団生活の中で発見され、子どもが生活に困難を抱えてからどのような支援が必要かを模索するというケースが一般的です。早期サポートができれば、周囲とのトラブルにより自信を失ってしまったたり、学習へのやる気をなくしてしまったりする可能性は減るのではないのでしょうか。横浜市のしくみや考え方の特徴に感心し、今後の中野での取り組みに活かしていきたいと思いました。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



9/18 第15回レインボーマーチ札幌に参加。
パレード後にスピーチをしました。

昨年は東日本大震災による地震・津波・原発事故・帰宅困難者の発生といった大規模の災害の他、区内では集中豪雨や台風による風水害が発生しました。

様々な不安が広がる一年でしたが、その一方で、支えあいや絆の大切さが強く感じられる一年でした。

そうした中で初の当選をさせていただきました。また、区議会での質問の際には、何人もの方が傍聴に来てくださり、とても励まされました。

中野区では従来の災害時要援護者登録制度の改善・整備を進めると共に、手を

域全体で見守る「地域支えあい」のしくみがスタートしました。

一人ひとりの違いをこえて、すべての区民が支え、支えられるという、住民参加型の支えあいネットワークが一層広がるように一議員の立場からも関わっていきたいと思います。

地域生活の中でお気づきのことなどがあればお気軽に声をお寄せください。

石坂わたる



9/4 区民の方にお話を聞き、中野について話し合う交流会を開催。交流会は定期的に行っています。ぜひご参加を！



11/6 東京大学附属中等学校にて避難所開設訓練に参加。消火器操作を体験しました。



9/4 HIV関連イベント「Living Together Lounge」に出演し、手記を朗読。



11/23 韓国・朝鮮・日本の伝統音楽
ライブ「ノルジャ」鑑賞。前中野区議会議員
の佐藤ひろこさんと。



12/3 中野区障害者事業団が2年に一度開催する「ユニークダンスを楽しむ区民の集い」で、たくさんの方と踊りました！

中野区議会内では、無所属議員控室に在室しています。ご相談・ご意見をうかがいますので、お電話・メールでの在室確認の上、お気軽にいらしてください。（区民の方3名以上の集まりにも調整の上こちらから伺います。）

中野区内でたつご通信の配布をお手伝いして下さるボランティアを募集しております。ご自宅のお近くだけでもかまいません。ご協力いただける方はお電話・メールなどでご連絡ください。

石坂わたるの議会質問の日程やイベント参加の予定を、メールで配信しています。ご希望の方はメールでお申し込みください。

たつこの通信は共生中野が発行する定期的な通信です。郵送をご希望の方は、お電話かメールにてご連絡ください。

高放射線量地（ホットスポット）の除染開始しました

中野区では、子どもが利用する区の施設などにおいて、毎時1マイクロシーベルト以上の放射線量率の箇所情報が寄せられた場合、土壌の除染などを行うことになりました。

ホットスポットを見つけたら、下記担当部署までご連絡ください。区による再測定の上、対応します。



小学校・中学校について	
教育委員会事務局 学校教育担当	03-3228-5522
保育園・幼稚園について	
子ども教育部 保育園・幼稚園担当	03-3228-8638
公園について	
都市基盤部 道路・公園管理担当	03-3228-8032
道路について	
都市基盤部 道路・公園管理担当	03-3228-8844

すべてのお問い合わせはこちら! ☎ 03-6304-8758(事務所) または 03-3228-8874(無所属控室) ✉ 09wishizaka@mbr.nifty.com

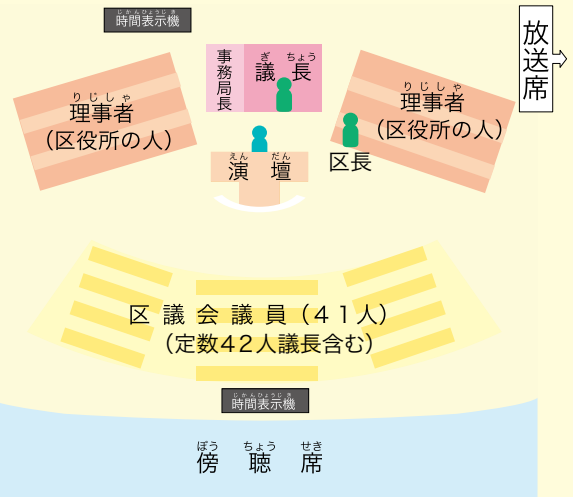
みんなをつなぐ石坂わたるの活動報告

ココがポイント 区は「区民の健康と命を守る」とはつきりと答えてくれました。放射線量測定など必要な対応を実施してくれることを期待します。

本会議の様子！ 区議会 豆知識

その2

本会議を行う議場は、中野駅
近くの区役所5階にあります。
2月、6月、9月、12月の年4回、ここで定例会が開かれます。



議長 区議会議員の中での選挙で選ばれます。現在の議長は、大内しんご議員（自民）、副議長は久保りか議員（公明）です。
演壇 質問や回答（答弁）は、ここに立ち発言します。
理事者 議員からの質問に対し回答する担当部署の職員。
区議会議員 選挙で選ばれた42人の区民の代表者です。
傍聴席 議会はどなたでも（子どもでも、区外在住者でも）見学できます（「傍聴」といいます）。現在の議場はバリアフリー化されていないため、車いすでの傍聴は難しい構造ですが、今後の建て替えの際に、バリアフリー化がのぞまれます。

第4回定例会（12月1日～14日）
本会議 一般質問

住み替え支援事業を ルームシェアにも適応

石坂 障がいを持つ方同士、同性カップル、友人同士での共同居住について区民から相談を受けているが、婚姻関係のない2人が新たに共同名義で部屋を探すとは断られるケースも少なくない。ハウスシェア、ルームシェアを希望する人が住む場所に困らないように、区が民間の不動産店と連携し住宅難民を生み出さないような取り組み、さらにシェアを希望している区民がいることを踏

現場においてケースワーカーとともに困難な事例について対応しているところ。今後もしっそう連携を強化し、支援を行っていききたい。

区民の健康と命を守って！

石坂 東日本大震災後の中野区の放射能汚染について、不安の声が広がっている。「中野区における平和行政の基本に関する条例」には、「平和で安全な環境のもとに平和行政を推進する」という箇所がある。また、平成19年3月に出された中野区食品安全委員会の答申では「区民の健康や安全を守ることは区の責務」と述べられている。ホットスポットや学校給食に限らず、区あるいは区長は、区民に安全な環境を提供し、健康と命を守るという責務があるとの認識でよろしいか？

環境部長（尾崎孝） 区民の安全な環境と健康を守っていく立場から、必要な取り組みについて着実に進めてまいりたい。

石坂 区が責任をもって、区民の健康と命を守っていただけるという認識でよろしいか？

環境部長 それは区としての責務でございます。

また取り組みが必要では？

区長（田中大輔） 新しいライフスタイルに応じた住まいのあり方について、不動産団体とも情報交換しながら協力体制の整備に努めてまいりたい。
石坂 住み替え支援事業の住宅情報提供は、高齢者や障がい児（者）世帯、ひとり親家庭のほか、みずから物件を探すことが困難な方が対象となる。シェアを希望するケースでも、住み替え支援事業の利用ができるよう対応を。また、住み替え支援事業の広報や窓口の案内を積極的に行うべきでは？
区長 区の住み替え支援事業では、さまざまな理由によりご自分で住宅を探せない方についても支援をしている。

子ども文教委員会（10月24日）

『特別支援教育の推進のための考え方』について

石坂 通常学級に在籍する肢体不自由児の介助員には資格要件あるいは十分な研修等が必要になるのではないかと。教育委員会事務局副参事（学校教育担当 宇田川直子）資格を持つ方を採用するか、研修等で技術などを身につけてもらうかは今後の検討する。技術的なところは必要というふうに認識をしている。

決算委員会子ども文教分科会（10月12日）

赤ちゃんほっとスペースの整備、PRを！

石坂 赤ちゃんほっとスペース整備補助金について教えてください。赤ちゃんほっとスペースは、今年度は中野サンプラザに設置されたが、計画的な設置を行っているのか。

子ども教育部副参事（子ども教育経営担当 白土純） 平成22年度は中野サンプラザで設置をし、実支出額の3分の2を補助した。現在区有施設で80カ所民間の施設で22カ所、それから駅について11カ所と、相当程度整備されている。乳幼児の保護者が安心して外出できる環境を整備するという目的は一定程度は達成できていると考える。

支援制度について、今後ともPRや窓口案内の工夫・改善に努めていきたい。

住み替え支援のお問い合わせ

都市基盤部
都市計画分野住宅施策担当
03（32228）5588

対象者に応じたきめ細かいメンタルサポート体制を！

石坂 精神科医や医療関係者の話では、失業者、ひとり暮らしの独身者、セクシュアルマイノリティ、思春期の子どもなどの受診者も多い。うつ病あるいは精神疾患にかかることが多い層に対し、それぞれの特徴にあわせた対応が求められる。区職員には、知識を持ち、要支援者を適切な担当部署につなぐ力を育てる研修が必要では？

区長 区の窓口ではさまざまな相談を承り、きめ細かい対応に努めている。自殺やうつの傾向に気づき、適切な担当部署につなげるるように、昨年度から区職員に対して自殺予防の研修などを行っているところだ。

石坂 中野区の精神保健福祉の普及と啓発においては、ボランティアが担っている部分が多くある。「精神保健福祉ボランティア講座」を修了し、ボランティア活動を継続する人も数多い。精神保健福祉分野でのボランティアが

今後民間施設で整備したいという話があれば、できるだけ予算化して整備していくと考えているが、現在のところそういう話はないので、今のところは予算化することは考えていない。

石坂 相当程度整備されているということだが、場所によってはおむつ交換スペースだけで、授乳スペースが確保されていない所もある。今後、できるだけ授乳スペースも確保できればと考える。また授乳スペースが設置されている場所のPRもしていただきたい。
子ども教育部副参事 ご指摘のように、スペースの関係で両方が整っていないが、今後もPRに努めていきたい。



第四回定例会中の委員会の中の、子ども文教委員会では区内の保育所の視察等、地域支えあい推進特別委員会では高齢者や障がい者の支えあいのしくみについて質問を行いました。詳細は次号のニュースでお知らせします。

より地域で活躍できるように、区が連携し、支援していくことが必要では？

地域支えあい推進室長（長田久雄）

ボランティアの存在が、精神障がい者と地域のさまざまなつながりを担い、支えあうしくみを推進する役割を果たしていると考えている。今後も区民と協働しボランティアを養成し、支えあいの風土を確立していきたい。

ボランティアとサービスを必要としている人たちの結びつけや、関係機関等との連携などについても、情報提供や支援を推進したい。「精神保健福祉ボランティア講座」では、今年度より先輩ボランティアと情報交換や交流をもつ機会も増やし、連携や活動の支援を行う予定だ。

石坂 現在、生活保護を受給する精神障がい者に対して支援が行われている。しかし、生活保護を受けるまでには至らずとも、失業状態が続き、生活を続けることが困難な方々も、メンタルサポートの支援を必要としている。早めの対応は生活保護の手前で食い止められる支援にもつながるのだから、離職者相談や生活相談の際に、専門家をまじえた精神的な相談も必要では？
区長 その認識をもっているところ。支援方法の検討を行っていききたい。

石坂 生活保護受給者の自立を促進する支援についても、精神保健福祉士と区のケースワーカーの連携を強化・拡充することが必要ではないか？
区長 精神保健福祉士は、生活保護の

赤ちゃんほっとスペースをご活用ください



子育てにやさしい街・中野の実現に向け、中野区は区有施設や民間施設、店舗等の授乳室・おむつ交換スペースを「赤ちゃんほっとスペース」と名づけています。中野区では赤ちゃんを連れた保護者も外出しやすい街作りを行っています。

区内の赤ちゃんほっとスペースは、区ホームページ、子育て支援ハンドブック「おひるね」などに施設一覧を掲載しています。また、授乳・おむつ交換設備のある施設にはステッカーを交付し、周知に努めています。

赤ちゃんほっとスペースの設置には、整備補助金が用意されています。平成22年度に中野サンプラザで設置した際には、実支出額の3分の2が補助されました。赤ちゃんとの外出は大変なものです。新しくできる建物などに、このようなスペースを作ってもらえると、外出が楽になっていくのではないのでしょうか？

赤ちゃんほっとスペース一覧

<http://www.city.tokyo-nakano.jp/dept/241500/d001411.html>

▼訂正
たつのこ通信2号2ページにおいて誤りがありました。「東京都のHIVによる免疫機能障害での障害者手帳所有者が平成22年度末に四万六千六十一人」と記載しましたが、正しくは「四千六百三十六人」です。お詫びして訂正いたします。